

一般質問

『市政を問う』

東日本大震災による
三条市の影響について

問 東日本大震災では、直接的被害や影響だけでなく、日本全国のさまざまな方面にも間接的な被害や影響を与えている。平成23年度予算で回復基調を見込んだ市民税にも影響が出るのではないかと。この震災による三条市及び企業や市民生活にどのような影響があるのか。

答 自動車関連の製造、加工業等への影響は見込まれる。他方で災害関連需要もあり、リーマンショックに伴う悪影響と比較した場合、トータルで考えたときに余り大きな影響はないと見込んでいます。個々の企業を捉えた場合、売掛金の回収延滞等による影響もあり、東日本大震災緊急対策資金を創設し対応している。福島第1原子力発電所の事故の収束、計画停電は変動的要素として注視していく。

三条市の長期展望について

問 国土の長期展望の中間とりまとめが発表され、日本の総人口が2050年には25.5%減少し、全国の66.4%の地点で現在より

も半減し、そのうち2割超は無人生活してしまうとの予測が発表された。国のさまざまなデータを活用し、長期計画を策定すべきではないか。

答 三条市のみが人口減少の潮流から逃れることは現実的ではない。現在の政策を着実に実行していく。

道路の維持管理について

問 市民からの道路補修に関する要望の現状はどうか。

答 経年劣化という中で、要望は年々増加している。厳しい財政状況の中、効果的な維持修繕に努めていく。

問 補修場所の決定は、どのような判断基準によるのか。

答 道路パトロールや自治会からの要望、市民からの情報提供を受け現地確認し、通行上の安全確保から危険度の高いところを優先している。

学校現場における
非構造部材に対する対策

問 学校現場において地震に備えた非構造部材の点検、対策はどの

観光対策について

問 通称ハナミズキ街道の樹木が年々弱っていく中で抜本的な対策が求められているがどうか。

答 土壌改良や植え替えで対応する。



枯れ木の目立つ通称ハナミズキ街道

一中学区一校問題について

問 県教育長の助言を受け入れるべきではないか。また、県は小中一貫教育を推進しているのか。

答 県教育長は感想を言っただけで、ジャッジしたのではないと理解している。県が推進するのは小中連携だから一貫教育と同じである。

柏崎・刈羽原発について

柏崎・刈羽原発で福島第1原

ようになっているか。

第一中学校区の各小中学校
跡地等の利用計画

問 第一中学校区内の各学校の跡地及び施設の利用計画はどのようなになっているか。

答 条南小は防災の観点から調整池の機能を持たせた公園等に、四日町小は第一中学校区小中一体校のサブグラウンド及び臨時駐車場



条南小学校の現風景

うことで了承されたものである。

東日本大震災の影響はどうなる

問 地震、津波、原発事故、この3つの震災は日本だけでなく、世界中に自然災害の怖さを教えた。東北地方の産業だけでなく、原発事故に伴う影響は、放射能汚染による風評被害を含め全国各地に及んでいる。国の予算編成も災害復旧が中心になると考えられる中、三条市でも多くの公共事業が行われており、三条市の財政にも直接的、間接的に影響があると思うが、どう見ているのか。

答 市内経済の景気は依然厳しい状況にあるが、現段階での影響はリーマンショック時よりは少ない。自動車関連はマイナス、災害関連はプラスで、その差は小さく、大きな影響はない。

栄スマートインターチェンジ
へのアクセス路

問 栄スマートインターチェンジの工事も着々と進んでおり、地域の関心も高く、一日も早い供用開始を待っている。下田地区からのアクセス路については、慢性化している第2産業道路の渋滞の緩和、三条市環状線としての機能等、利便性を考え早急に整備すべきで

として、南小の校舎は教育・子育て市民活動の拠点として、グラウンドは部活動の補完的利用に、南小一中の体育館は避難所及び学校開放としての利用に供する予定。

東日本大震災と
三条市政について

問 ①原発事故は「人災」と言わざるを得ないが、市長の見解はどうか。②節電達成のエコポイント制度や新エネルギー設備等導入設置補助金制度を導入する考えはあるか。③約1万4000灯ある防犯灯などを段階的にLEDにかえる考えはあるか。④公共施設だけで約130台もある自販機への節電対策はどうか。

答 ①原発は安全確保の徹底が必要。事故原因は国・東電が十分検証するものと期待する。②節電エコポイント、新エネルギー補助制度は考えていない。③LEDは今後の検討課題である。④設置者において自主的に一部販売停止などの措置が講ぜられるものと考えている。

ないか。

答 従前よりこの間の整備については(仮称)県東南部線構想として促進協議会を結成し、検討を行ってきた経緯がある。設置主体は、県で取り組むように要請していきたい。



工事が進む栄スマートインターチェンジ

大地震に対する備えは

問 三条地震から183年。この地震は火災や山崩れ、液状化があったとされるが、地震に対する備えは大丈夫か。

答 三条市震災対応マニュアル等各種計画について不断の見直しが大切である。